

大 解 剖

らいふすてーじ

らいふすてーじ NF 特別号をお読みの皆様、こんにちは。今日もらいふすてーじを読んでいただいております。らいふすてーじ編集部が活動できるのも、ひとえに読者の皆様方のおかげです。感謝！今回は読者の皆様、中でもらいふすてーじを最近読み始めた皆様、何度も読んではあるけどよく知らないという皆様に、らいふすてーじのことをもっと知ってもらうために、らいふすてーじそのものを特集する記事を書きました。この記事を読んでらいふすてーじのことをより身近に感じていただけたら、とても嬉しいです。(ゼリー)

「らいふすてーじ」とは

らいふすてーじは京大生協の食堂・購買各店舗で無料配布されている機関紙です（無料なので遠慮なく持って行ってください！）。創刊は1984年、それから途切れることなく今日まで発行され続けています。記事を書いているのは私たち「らいふすてーじ編集部」、京大生協の学生委員会に所属する公認サークルです。記事の執筆は、企画から本文やイラストの作成・取材まで、すべて学生だけで行っています。

らいふすてーじには大きく分けて2種類の記事があり、それぞれ特集記事、定番記事と呼ばれています。特集記事は編集部員が「あれについて書きたいな」と思い立った時に書く一発もの。定番記事は何度も書かれていてテーマ、フォーマットが大体固まっている記事です。右ページでは、いくつかの定番記事を紹介しています（普段のらいふすてーじは白黒で作成しているためロゴが白黒になっています、手抜きではありませんからね！）。

さまざまな定番記事

読者カードを書こう！

らいふすてーじには「読者カード」というものがあります。読者の皆様の意見や感想、回答を集めるためのものです。たとえば定番記事の十人十色は読者カードから得られたネタを使って書かれますし、クロスワードの回答、記事に用いるアンケートや、企画のネタ集めなども行っています。つまり、読者カードを通して読者の皆様にも記事の執筆に参加してもらっているということです！皆様からの読者カード、待ってまーす！



京都

うろつきまわりんぐ

ACADE見IC



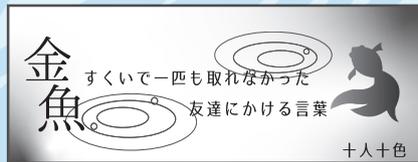
編集部員が京都をうろろして京都にある名所を紹介する記事です。寺社仏閣や京大周辺のスポットを取り上げる場合が多いです。もちろん有名な観光地だけでなく、京大生がよく行くスポット、隠れた名所、ひたすら鴨川を下っていくと何があるのか、など、大学生の視点でうろつきながら記事を書いています。写真がたくさん用いられるのもこの記事の特徴です。



京都大学の教員の先生や研究施設を身近に感じてもらうことを目的とした記事で、大学の先生方へのインタビューをしています。らいふすてーじの中でも特に大学らしい、アカデミックな記事です。もちろん、インタビューは編集部員が行っています。創刊の翌年から続いている歴史ある定番記事で、今までおよそ200人の先生方にインタビューしてきました。



読者カードで集めたアンケートの結果を紹介する記事です。京大生のナマの声を知ることができます。テーマは「インテリア」「鍋の具材」「推し」「でかいチキン」など多種多様。この記事を読まずして京大生を語ることはできません。あらゆることにエビデンスが求められる今の世の中において、統計はとても重要です。この記事を読んで京大生と統計に精通した最先端の人間になりましょう。



Cross Word



編集部員おすすめの本や映像作品、CDなどを紹介する記事です。自分の好きな作品について趣味全開で語るのはとても楽しく、そしてちょっと怖いです。とはいえ、自分の推し作品をタダで、広範囲に、好きなように布教できるのがこの記事の素晴らしいところです。これだけでもらいふすてーじ編集部に入る価値があります。読者の皆様も、編集部員になって推しを布教しませんか？



読者から寄せられた投稿を元に編集部員が話を組み立てる記事です。基本的に面白い、ギャグ満載の笑える話を目指しています。決められた行数でぴったり収めることや上手くストーリーを展開させること、読者の皆様から寄せられた個性的でユーモア溢れる素晴らしいネタを駆使してオチをつけるのが大変で、これを書いている編集部員はいつも七転八倒、脳髓を絞りながら書いています。



らいふすてーじには編集部員が作成したクロスワードが掲載されていて、正解者の中から抽選で10名様に生協店舗で使えるオンバリュー券1,000円分をプレゼントしています。かなり本格的かつちょうどいい難易度になっているので、ぜひ挑戦してみてください。らいふすてーじを読んで、クロスワードを楽しんで、オンバリュー券を手に入れて、一石三鳥です！

上で紹介した定番記事以外にも、らいふすてーじには様々な記事が掲載されています。例えば、院生委員会が中心となって院生向けの特集をしている「院 sideout」や、京大生協の経営概況の報告や理事会の活動の様子を掲載している「理事会通信」など。他にも、「大学生協おにぎり100円セール実施！」みたいな生協のお得情報なんかも載っています。ぜひチェックしてみてくださいね。

ここまでらいふすてーじについて紹介してきました。らいふすてーじのこと、たくさん知っていただけたでしょうか。身近に感じていただけたでしょうか。もしそうなら、これほど嬉しいことはありません。私たちは読者の皆様の大学生活にちょっとした彩りをプラスできるように、頑張ってます。メイ・ザ・らいふすてーじ・ビー・ウィズ・ユー（らいふすてーじと共にあらんことを!）。これからもらいふすてーじを楽しんでいただければ幸いです。

らいふ あー 座談会



らいふすてーじの編集部員、通称「らいふあー」。普段誌面で自分のことを多くは語らない彼らだが、果たしてどんな志をもって編集部に入り、どんな想いで記事を執筆し、どんな未来を思い描いているのでしょうか。今回は1回生から3回生まで1人ずつ計3人の編集部員に集ってもらい、座談会形式で話を聞きました！ (月影)

月影 (以下、**月**) : **まずは編集部に入ったきっかけから訊いていきたいんですが。**

待ノ介 (以下、**待**) : もう2年半前だからあやふやなんだけど、僕はもともと自分で何かを作ってそれが形に残るようなことをやりたくて、それでフリーペーパーを作っているサークルがあると知って興味を持ちました。食堂に置いてあるのを読んでみておもしろかったし、新歓で編集用のソフトを触ってみて楽しいと思ったから、らいふすてーじ編集部に入ることを決めたよ。

真都 (以下、**真**) : 僕は受験のときに京大を紹介してくれる雑誌だと思ってらいふすてーじを持って帰って、受験が終わった後に読んでみたらおもしろかったから「絶対京都大学に入学して編集部に入りたい!」と思ったのがきっかけですね。

待 : らいふすてーじを書くために京大に来たみたい (笑)

真 : 落ちたら浪人することも考えてました (笑)

月 : ちなみにその時は何の記事を読んだの?

真 : 衝撃的だったのは十人十色かな。「NFで絶対に流行る模擬店 (2019年11月号)」とか「どうしても干支に入りたいゴリラの作戦 (2020年1月号)」とかがおもしろかった。

待 : あれで新入部員が増えていたとは……。

一同 : (笑)

タルトタタン (以下、**タ**) : 私は合格したら届くやったね袋に入っていたサークル大百科のらいふすてーじ編集部のページを見てなんとなくいいなと思って、新歓に参加してみたらおもしろそうだったので入ってみようと思いました。

月 : 今年のサークル大百科ってどんなでしたっけ?

待 : あれ僕が頑張っておしゃれな感じに変えたんだよ!

月 : 変えといてよかったですね (笑)

待 : その代わりうのちゃん (らいふすてーじのマスコットキャラクター) が載らなくなっちゃったけど (笑)

月 : **次は初めて書いた記事の思い出を教えてください。**

待 : 僕が初めて書いたのは2年前の鱗祭 (2019年11月号) で、

そのときはひたすら文章を考えるのが大変だったっていう印象が強いかな。好きなものの好きなポイントを他の人に伝えるような言葉や文章の構造で表現するのが難しかった。鱗祭はみんなで書いた記事だけど、初めて1人で書いた記事でいうとその1年後ぐらいに書いた「お手軽 cleaning (2020年10月号)」で、これは最初に企画を出したのが12月で発行されたのが翌年の10月っていう練りに練られた記事なんだけど、べつに内容について揉めてたとかじゃなくて (笑) どういう記事にするかをずっと迷っていて、締め切りの2週間前にレイアウトをガラッと変えたんだよね。それで見やすく自分でも納得のいくものになったので、初めてにしては頑張ったなと自分を褒めてあげたいですね。

一同 : (笑)

真 : 僕が初めて書いたのは今年の春号のクロスワードなんですけど、そのクロスワードと一緒に編集部に入った3人で作ったもので、ほとんど初対面の人と一緒に作ったのがすごく楽しくて、そこでクロスワード作りの魅力に気付きました。

月 : タルトタタンさんは今まさに初めての記事を書いているところだと思うけど、実際どう?

タ : やって見たら想像してた以上にレイアウトを考えるのが難しくって、何ページも記事を書く人ってすごいなと思ってます。

月 : **それでは既に記事を書いたことのある2人に自分のベスト記事を訊いていこうと思うんですが。**

真 : そんなにたくさん記事を書いているわけじゃないので恐縮ですが、ベスト記事だと思うのは、「ACADE見IC 徳永悠准教授 (2021年夏号)」です。今まで書いた中で一番ページ数が多い記事で、インタビューに2時間、文字起こしに8時間、さらに文章の調整をして……とかなりの時間もかかっているの思い入れが深いです。締め切り直前は「文字起こしが終わってねえ!」とか言いながら毎日2時間しか寝られないみたいなこともあったんですけど (笑)

タ : 命削ってやってますね (笑)

待ノ介

らいふすてーじ前編集長にして、編集部生の伝説。3回生で記事執筆において膨大な経験と知識を有しており、編集部員からの信頼も厚い。

真都。

ACADE見ICの鬼。噂によるとクロスワードのストックも大量にあるらしい。今回のNF特別号では表紙も担当し、さらに活躍の場を広げている2回生。

タルトタタン

らいふすてーじ編集部期待の1回生。NF特別号で初めての記事執筆に挑戦し、その大器の片鱗を示した。ところでタルトタタンって何ですか……？

真：それから、6ページもあったのにインタビューの内容をかなり絞って記事にしたんですけど、その中で移民や留学、英語学習など様々なジャンルについて触れられているとか、書いて一番楽しかったとか、いろんな意味でこれがベスト記事ですね。

待：僕は「文房具特集(2021年春号)」が個人的にお気に入り、7ページというボリュームのある記事を書き上げた達成感だったり、背景とか小見出しにこだわった納得感だったりがありました。でも、7ページあるとはいえ商品紹介の文章は他の編集部員が書いたレビューをそのまま使ってるので、実は「お手軽 cleaning」の方がかけてる時間は長いんだよね(笑)あと僕は表紙も作ってたんだけど、その中では「こんな頃にもどりたね(2021年夏号)」が気に入ってます。それまでは写真を加工して作ってたけど、初めて自分でドット絵で描いてみて、らいふすてーじっぽくはないかもしれないけど、新しい雰囲気の表紙にできたのでよかったです。

月：あの表紙は僕もお気に入りです！

月：では、今度はらいふすてーじ全体でベスト記事だと思ふものを教えてください。もちろん自分の記事を推してもらっても大丈夫です(笑)らいふすてーじのホームページではバックナンバーを見ることができますが、その中でお勧めはありますか？

タ：実は私はさっき話題に上がった「文房具特集」がお気に入りです。

一同：おー。

タ：私自身すごく文房具が好きで、持っているものも紹介されていて共感しながら読みました。

待：ありがとうございます！自己肯定感が高まりますね。

一同：(笑)

真：僕はさっきも挙げた十人十色の「NFで絶対に流行る模擬店」と「どうしても干支に入りたいゴリラの作戦」がお気に入りですね。あれは本当によかったなと思っています。ゴリラの方は隣にある編集後記も合わせて読んでほしいです。

待：僕はいくつか気に入ってるのがあるんだけど、「ACADE見IC 潮見佳男教授(2019年10月号)」はとてもクオリティ

が高く勉強になる。「ちゃんとした雑誌じゃん！」って思うぐらいすごいので、みなさんもぜひ読んでみてください。

月：今後どんな記事を書きたいですか？

待：僕はもう先がないんだけど……(笑)ボードゲームとかガチャガチャが好きだから、そういうものを取り上げつつ興味がない人にも読んでもらえるような記事を集大成として書けたらいいかな。

真：僕はACADE見ICをいくつか書きたいのと、あとはお寿司とラーメンが好きだから、寿司ネタの人気投票とか、編集部員おすすめのラーメン屋紹介の記事を書いてみたいです。

タ：私は最近いろんなメイク道具を買って試してるので、学生でも手が出るプチプライスのコスメ特集とか書いてみたいです。

待：ぜひ書いてほしいね。ファッション系は苦手にしてきたところだから(笑)

月：では最後に、待ノ介さんから編集部員を代表して一言お願いします。

待：一言……、一言？

一同：(笑)

待：一番ありがたいのは読んでいただくことなので、気になるページだけでも読んでみてください！あとは読者カードも出して、ちょっとだけでもらいふすてーじに協力してもらえると嬉しいです。

いかかだったでしょうか？ 今日初めてらいふすてーじに出会ったという方も、この4ページでらいふすてーじのこと、そしてらいふすてーじ編集部のことをわかっていただけたことでしょうか。ぜひこれから生協のお店を利用する際には探してみてください。らいふすてーじは読者のみなさんからの投稿があって初めて成立します。私たちの渾身の記事を楽しんでいただき、みなさんからたくさんのお声をいただければ幸いです。